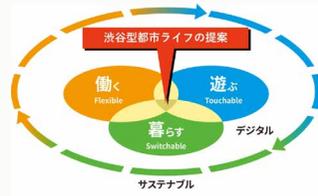


特集 広域渋谷圏 (Greater SHIBUYA) におけるまちづくり

長年にわたり培ってきた歴史と実績、強み、そして理想は、100年に一度といわれる渋谷駅を中心とした大規模開発に活かされています。東急グループでは、渋谷駅から半径2.5km圏内を「広域渋谷圏 (Greater SHIBUYA)」と定義し、面としてのまちづくりを推進。人と文化がスムーズに流動する広い意味での「渋谷」の魅力を上向させています。当社グループでは、2024年度までに「Shibuya Sakura Stage」をはじめとする4つの新規プロジェクトが竣工・開業を予定しており、さらなる取り組みを推進していきます。

「Greater SHIBUYA 2.0」とは

2021年7月、「広域渋谷圏構想」(東急不動産)と「エンタテインメントシティSHIBUYA」(東急)の2つのビジョンを進化・深化させた渋谷まちづくり戦略「Greater SHIBUYA 2.0」を策定しました。両社のビジョンを強化していくことに加え、「暮らす」要素により着目し、「働く」「遊ぶ」「暮らす」の3要素の融合と、その基盤となる「デジタル」「サステナブル」に取り組むことで、相乗効果を生み出し、渋谷でしか体験できない「渋谷型都市ライフ」の実現をめざしていきます。



広域渋谷圏の魅力

- 価値創造力** 異能・才能が活かし活かされ、時代の最先端を切り開く革新が創出される
- 発信力** リアル・オンラインを織り交ぜた多様なチャンネルで、トレンドが全世界に発信される
- 多様性** 多様な個人・団体・企業が集い、それぞれを認め合いながら交流する



Greater SHIBUYA

広域渋谷圏におけるまちづくり

2019年

渋谷ソラスタ (2019年3月竣工)

エントランスから屋上庭園まで緑を立体的につなげ、屋内でも豊かな自然を感じられる、渋谷では希少な大規模オフィスビル。数多くのサードプレイスを用意するなど、知的生産性の高い働き方をサポート。



渋谷フクラス (2019年10月竣工)

高層部は賃貸オフィスと会員制シェアオフィス、中低層部は「東急プラザ渋谷」、1階には空港へのアクセスが良いバスターミナルと観光支援施設を設置し、渋谷の新たな玄関口として、都市型観光の拠点に。



2023年

Forestgate Daikanyama (2023年10月開業予定)

代官山駅付近で「新しいライフスタイル」を提案する2棟の複合施設。建築家・隈研吾氏がデザイン設計を手掛けたMAIN棟は、「職・住・遊 近接のライフスタイル」を提案。カフェとイベントスペースで構成されるTENOA棟は、サステナブルな生活体験を提供することを主眼に、多様なステークホルダーと連携し、地域と都市をつなぐ活動拠点をめざす。



Shibuya Sakura Stage (2023年11月竣工予定)

渋谷駅南西部に広がる約2.6ヘクタールの敷地を一体的に整備することで、駅周辺の都市基盤整備を完成させる重要なプロジェクト。商業施設やオフィス、住宅に加えて、外国人のニーズに対応した国際医療施設や、サービスアパートメント、子育て支援施設の導入を予定。また、渋谷発のベンチャーを育成する企業支援施設も整備。



2024年以降

東急プラザ原宿「ハラカド」 (2024年春開業予定)

表参道と明治通りが交差する神宮前交差点に、新しい文化の発信拠点となる商業施設が誕生。街の新たなランドマークとしてにぎわいを創出するとともに、安全な歩行者空間の形成や周辺住環境に配慮した再開発を進めることで、原宿・表参道エリアのさらなる魅力向上に寄与。



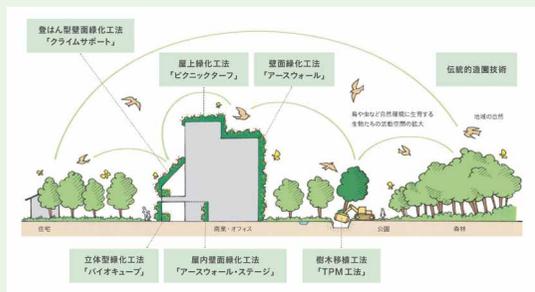
代々木公園 Park-PFI 計画 (2025年2月供用開始予定)

東京都初のPark-PFI事業として、代々木公園と渋谷・原宿を有機的につなぐ公園づくりプロジェクト。感性を刺激し合う多様な舞台となることをめざし、スケートボードが利用可能な広場、イベントなどでにぎわいを生み出す広場、緑の憩いを感じられるテラスなどを整備し、多様な人々を迎え入れる。



広域渋谷圏におけるエコロジカルネットワークの形成

広域渋谷圏には、明治神宮・代々木公園・赤坂御所など、豊富な緑地が広く点在しているのが特徴です。私たちは本エリアで積極的な都市緑化に取り組み、周辺の緑をつなぎ、そこに住む生き物たちの中継拠点を担うことで、エコロジカルネットワークの形成に取り組んでいます。



Value chain topics —グループ連携で新たな挑戦—

石勝エクステリアでは、東急プラザ表参道原宿の屋上庭園「おもはらの森」で、生態系に配慮した緑化と植栽管理を行っています。2012年より生態系調査を実施しており、明治神宮・代々木公園・赤坂御所といったまとまった緑に囲まれた地域において、それらをつなぐ生態系の中継地点の役割を担っていることが裏付けられています。

屋上緑化を含む都市緑化のエコロジカルネットワークによる生態系への効果は、餌資源や産卵場所など生息のための資源にアクセスしやすくなり、採餌、営巣、繁殖といった生息のステージをまかなうことが可能となるなど、広域渋谷圏における生物多様性の回復(ネイチャーポジティブ)に貢献しています。



(株)石勝エクステリア
環境DX推進本部 環境DX推進課
川崎 鉄平

世界初のIOWN※サービスを導入したまちづくり 「職・住・遊」を融合した環境先進都市の具現化

東急不動産とNTTグループは、広域渋谷圏において、先端的な利便性と環境負荷低減を両立するまちづくりを進めています。まるで対面しているかのようなリモート会議やリアルタイム自動翻訳、商業施設でのリアル着せ替えカメラやスマートジムなど、超高速かつ低遅延なIOWNサービスにより、渋谷型都市ライフの実現をめざします。

※ Innovative Optical and Wireless Networkの略。あらゆる情報をもとに個と全体との最適化を図り、光を中心とした革新的技術を活用し、高速大容量通信ならびに膨大な計算リソースなどを提供可能な、端末を含むネットワーク・情報処理基盤

広域渋谷圏の魅力を高める当社グループの取り組み ～「創造・発信・集積」の循環～

当社グループは、広域渋谷圏の魅力を高めるために、創造・発信・集積の循環と、エリアマネジメントやデジタル基盤構築に取り組みます。



創造

体験型コンテンツの開発

異業種のパートナーと協業し、話題性・集客性に優れる、広域渋谷圏発の新たな体験型コンテンツを創出します。

取り組み事例●原宿・神宮前エリアにおいて、衣料品ロスの課題に付き合い、循環型ファッションの実現化をめざすファッションコミュニティ「NewMake Labo(ニューメイクラボ)」を運営しています。



スタートアップ共創

スタートアップの活力や成長性を取り込むことで、新しい産業やサービスが創出され続ける街のブランディングを行い、エリア価値の向上を図ります。

取り組み事例●世界トップレベルのイノベーションプラットフォームであるPlug and Play Japan(株)と、イノベーション創出の活性化に向けたスタートアップのコミュニティ形成を図っています。



発信

都市のメディア化

屋外広告物とイベント等を連動させ、メディア力を強化することで、渋谷の発信力を高めエリアの集客力向上を実現します。

今後の取り組み●東急プラザ原宿「ハラカド」、東急プラザ表参道原宿が対峙する神宮前交差点での屋外広告ジャック等を通じ、渋谷から世界に向けた最先端の情報発信を実現します。



デジタルツイン

XR(VR/AR/MR)を活用し、世界中どこにいても渋谷を体験できる、デジタルとリアルが融合したエンターテインメント体験を提供します。

今後の取り組み●動画や広告撮影用のデジタル背景アセット事業を複数物件にて展開していきます。



集積

パートナーシップ・アライアンス構築

ベンチャーキャピタルやクリエイター等とのパートナーシップ・アライアンスの構築により、新たな体験型コンテンツの開発やスタートアップ共創の実現につなげ、広域渋谷圏においてパートナーが集積する仕組みを構築します。

事例と今後の取り組み

ハラカド町内会●東急プラザ原宿「ハラカド」に入居予定のクリエイター等の町内会メンバーが、自らイベントやコンテンツを企画し配信するという、これまでの枠組みを超えた新しい商業施設の在り方に挑戦します。

X& Circle Fund●本田圭佑氏が共同創業者を務める、世界の起業家に投資をするベンチャーキャピタル。著名人のスタートアップ投資の支援を通して、エンタメ領域や発信力に強みを持つX& Circle FundにLP出資を行い、長期的な連携を実施。渋谷×カルチャー×テクノロジーをテーマとしたイベント開催等により、スタートアップ関係者の渋谷への集積を図ります。



ハラカド町内会メンバー



関係構築

エリアマネジメント

行政・地元・関連団体等の様々な関係者と協力し、他都市ではできないエリアをまたいだ面的連携による公共空間イベント等を実施します。

デジタル基盤構築

デジタルを通じて顧客接点数を拡大、取得したデータを蓄積・分析・活用することで、広域渋谷圏における回遊性・集客力向上を実現します。